



Q 最新の世界経済の見通しは？

A IMFによれば、2017年の世界経済の成長率は緩やかに回復する見通しです。日本、豪州などが上方修正されました。

- 国際通貨基金（IMF）によれば、2017年の世界経済の実質GDP成長率見通しは+3.5%と1月時点と比べて+0.1%上方修正されました。
- 先進国・地域では日本が+1.2%（1月比+0.4%）、ユーロ圏が+1.7%（同+0.1%）、上方修正されました。2016年後半に始まった世界的な製造業や輸出の回復が背景です。また、豪州は2016年10月時点に比べて、+0.4%上方修正され、+3.1%となりました。なお、英国は欧州連合（EU）離脱決定の影響は小さく、+0.5%の上方修正となりました。
- 新興国・地域の成長率は、中国とASEAN5がそれぞれ+0.1%、ロシアが+0.3%の上方修正となりました。中国は経済対策による高成長を主因に上方修正されました。また、ASEAN5やロシアの上方修正は世界経済や資源価格の回復などが背景です。
- 今回IMFは、世界的な保護主義の広がりや、米国の急速な利上げ、地政学リスクの高まりなどを世界経済の下押しリスクとして指摘しました。特に、中長期的なリスクが1月時点よりも増した可能性もあるとしています。リスク回避には、開放的な貿易体制の維持、世界的な金融安定性の保護が求められています。

IMFの世界経済見通し（2017年4月）

（単位：%）

	2016年		2017年（予想）		2018年（予想）	
	成長率	修正幅	成長率	修正幅	成長率	修正幅
世界全体	3.1	0.0	3.5	0.1	3.6	0.0
先進国・地域	1.7	0.1	2.0	0.1	2.0	0.0
日本	1.0	0.1	1.2	0.4	0.6	0.1
米国	1.6	0.0	2.3	0.0	2.5	0.0
ユーロ圏	1.7	0.0	1.7	0.1	1.6	0.0
英国	1.8	▲ 0.2	2.0	0.5	1.5	0.1
豪州	2.5	▲ 0.4	3.1	0.4	3.0	0.1
新興国・地域	4.1	0.0	4.5	0.0	4.8	0.0
中国	6.7	0.0	6.6	0.1	6.2	0.2
ASEAN5	4.9	0.1	5.0	0.1	5.2	0.0
インド	6.8	0.2	7.2	0.0	7.7	0.0
ブラジル	▲ 3.6	▲ 0.1	0.2	0.0	1.7	0.2
メキシコ	2.3	0.1	1.7	0.0	2.0	0.0
ロシア	▲ 0.2	0.4	1.4	0.3	1.4	0.2
南アフリカ	0.3	0.0	0.8	0.0	1.6	0.0
トルコ	2.9	▲ 0.4	2.5	▲ 0.5	3.3	0.1

（注1） ASEAN5はタイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナムの5カ国。インドは年度。

（注2） 各年の修正幅は2017年1月時点の見通しとの比較。豪州、トルコは2016年10月の見通しとの比較。

（出所） IMFのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。